



みんな大好き！ 学校大好き！ ふるさと大好き！

# 「大好き！」 第6号



令和4年9月21日(水)発行 (本校ホームページQRコードです。他のお便りや給食、学校生活ブログ等をご覧いただけます。)

## 勝つことは、「目標」であって「目的」ではない！

コロナ禍で規模縮小とはなりましたが、秋晴れの好天に恵まれて、盛大に「秋の大運動会」を開催することができました。

後援会や保護者の方々には、事前の愛校作業をはじめ、準備から当日の運営・応援・後片付けまで大変お世話になりありがとうございました。

紅白に分かれて得点を競い合いましたが、今年は紅団の3連覇を阻止した白団の優勝で幕を閉じました。

さて、児童会の手によって作られた『「夢」いっぱい、『自信』いっぱい、最後まで全力で！』という運動会スローガンのもと、仲間と力を合わせて、あきらめることなく、最後まで完全燃焼した子供たちは、運動会をとおしてたくさんの力を身に付けることができました。

「優勝」という目標をめざして両団が最後までがんばりましたが、「目標」はどちらか一方の団しか達成できません。

しかし、大事なことは、「目的」です。運動会をとおしてどんな力が身についたかということが最も重要です。

そういう意味でも、子供達の心の成長がみられた運動会でした。

以下、子供たちの運動会を振り返った作文より、一部を紹介します。

- わたしは、ほうおどりをがんばりました。わんしゅうでうまくできなかったけど、□□□ちゃんが、おしえてくれたから、じしんをもってできました。
- ほくは、ひやくめえとるそうをがんばりました。ぜはりよくではしたから、うれしかったです。
- ほくは、りしーでさいごまであきらめずにはいました。おうえんだんでも、大きな声で言えたのでうれしかったです。
- 結果は、わたしの赤団は負けて、白団が優勝したけれど、白団が優勝したとき、なぜかわれしくなりました。それは、たぶんいっしょにがんばったからだと思います。
- 運動会で、最後まであきらめない力が向上しました。
- 運動会で、ずっと応援する力が身につきました。
- 運動会で、次はもっとがんばろうと思う力が向上しました。
- 運動会で、間違えても次はもっとうまくいこうがんばろうと思う力が向上しました。

このような作文からも、子供たちの成長ぶりがうかがえ、目的が達成できたものと思います。

今後も、文化の秋でさまざまな行事があります。運動会で身に付けた力をもとに前進あるのみです！



## 心にしみるいい話！ りん小誇りの先輩です！

本校卒業生で南小国中学校2年生の杉安一葉さんが、全国中学校体育大会（陸上競技）1、500メートル女子の部において6位入賞を果たした快挙はご存じのとおりだと思います。

その彼女が、先日、「小学校の運動場を練習で走りたいので使わせてください。」と言ってきました。もちろん、「どうぞどうぞ！」と言って使ってもらいました。さすがは、全国6位の走りは違いますね。見ていて気持ちがよく感動します。

さらに、さすがだなと思ったのは練習後のことでした。「走った後の足跡を消して運動場整備をするのでコートブラシを貸してください。」と言ってきました。「そんな、いいよいいよ。」と言ったのですが、もくと運動場にブラシをかける姿がありました。競技以外の場も大事にしていることに感動です。

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！